

人間と生活・社会の理解【文化人類学】

担当教員	篠原 秀一	所 属	秋田大学教育文化学部
対象学年/開講時期	第1学年/前期	単位数(時間数)	1単位(15時間)
履修の目的 文化、宗教、風俗、生命の尊さなどの違いを学び、国際的な視野で人間を捉える。			
授業の形式 主として講義形式で行う。			
成績評価の基準等 出席・テストを総合的に評価する。			

【教科書・参考図書】

番号	書 名	発行所

【授業計画】

授業回数	履修主題	履修内容	教科書	担当教員
第1回	ガイダンス しぐさの諸文化Ⅰ	ボディランゲージの地域性		篠 原
第2回	しぐさの諸文化Ⅱ	「距離」の文化的・地域的意味		篠 原
第3回	衣生活の地域デザイン	被服とファッション		篠 原
第4回	食生活の地域デザインⅠ	世界の食生活地域		篠 原
第5回	食生活の地域デザインⅡ	日本の伝統食		篠 原
第6回	住生活と景観の地域文化	住まいと集落の地域デザイン		篠 原
第7回	情報の地域デザイン	情報・表現の地域性と 伝播・拡散・普遍化		篠 原
修 了 試 験				

学生へのメッセージ

文化、宗教、風俗、生命の尊さなどの違いを学び、国際的な視野で人間を捉える。文化の形成主体である人類の地域生活の特徴について、世界と日本の身近な生活事例に即して学ぶ。「生活文化」と「地域文化」、「地域性」をキーワードとし、人類の普遍性と可塑性を理解する。